

みずほCustomer Desk Report 2019/02/05 号(As of 2019/02/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.53
TKY 9:00AM	109.44	1.1456	125.43	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.16	1.1460	125.94	1.3082	0.7248
SYD-NY Low	109.44	1.1425	125.36	1.3104	0.7254
NY 5:00 PM	109.92	1.1436	125.68	1.3029	0.7212
				1.3035	0.7228
NY DOW	25,239.37	175.48	日本2年債	-0.1700	1.00bp
NASDAQ	7,347.54	83.67	日本10年債	-0.0100	1.00bp
S&P	2,724.87	18.34	米国2年債	2.5374	3.24bp
日経平均	20,883.77	95.38	米国5年債	2.5361	3.36bp
TOPIX	1,581.33	16.70	米国10年債	2.7244	4.11bp
シカゴ日経先物	20,885.00	80.00	独10年債	0.1750	1.10bp
ロンドンFT	7,034.13	13.91	英10年債	1.2755	2.90bp
DAX	11,176.58	▲ 4.08	豪10年債	2.2155	0.95bp
ハンセン指数	27,990.21	59.47	USDJPY 1M Vol	6.26	▲0.01%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.96	0.04%
NY金	1,319.30	▲ 2.80	USDJPY 6M Vol	7.49	0.02%
WTI	54.84	▲ 0.42	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	180.61	0.06	EURJPY 3M Vol	7.43	▲0.09%
ドルインデックス	95.82	0.24	EURJPY 6M Vol	7.94	▲0.09%

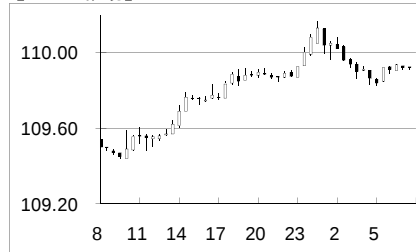
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月4日	18:30	英 マークイット建設業PMI	1月 50.6	52.5
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 -0.8%/3.0%	-0.5%/3.1%
2月5日	00:00	米 製造業受注(前月比)	11月 -0.6%	0.3%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	11月 -1.3%	-
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	11月 0.7%	1.5%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	11月 -0.4%	0.0%

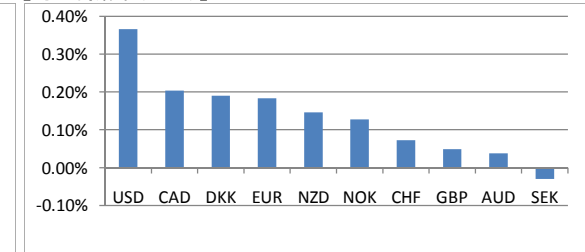
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月5日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 0.0%	0.4%
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	1.5%	1.5%
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	1月 53.1/52.1	53.1/52.1
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	1月 51.0/51.4	51.2/51.4
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 -1.6%	0.6%
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	1月 54.2/-	54.2/54.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.20-110.40	1.1400-1.1500	125.00-126.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円相場は引き続き堅調な推移が続き上昇する展開。週明けの月曜日、特段目立ったイベントもなく閑散相場の中、米国株が底堅く推移したこと等を背景に、前週の流れを引き継ぎドル/円は上昇。一時110円を超える局面もあったが、結局109円台でクローズしている。本日については、基本的には昨日同様の底堅い推移を想定。イベントとしては、1月ISM非製造業指数に注目。

東京	東京時間のドル円は109.44レベルでオープン。本日から中国が春節のため休場となる中、先週の良好な米指標を受けたドル買いの流れが継続し、ドル円は底堅い展開。日経平均株価も先週金曜日対比プラス圏で取引されたこともドル円のサポート材料になり、じりじりと109.79円まで上昇し、109.75レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間場のドル円は109.75レベルでオープン。週明けの欧州市場は先週末の流れを引き継ぎ、全般的にドル買いが目立つ展開。米10年債利回りが2.70%台に上昇したこと等を手掛かりに109.91円まで上昇するも、新規材料乏しく、1月23日以来の110円大台を試す動きには持ち込めなかった。結局、高値圏でこう着状態となり、109.87レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3077レベルでオープン。英1月建設業PMIが寒波の影響を受けた昨年3月以来、10ヵ月ぶりとなる50.6(前回:52.8、予想:52.5)に低下、プレグジット懸念で、特に商業ビル建設の打撃が顕著だったことからポンドドルは、1.3045まで下落し、1.3067レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	中国が春節で市場参加者が少ない中、海外市場のドル円は日経平均株価の堅調推移や米10年債利回りの2.70%台回復を手掛かりにじりじりと109.91まで上昇し、109.87レベルでNYオープン。NY朝方は特段のニュースが見当たらない中、心理的節目の110円を突破。その後、オプションカットに向けて、12月31日以来の水準となる高値110.16まで上昇するが、米政府一部閉鎖の影響で延期されていた米11月製造業受注と米11月耐久財受注がNY10時に発表され、予想を下回ったことから109.96まで反落。NY午後は米金利の上昇が一服する中、109.90近辺で方向感なく推移し、109.92レベルでクロスした。一方、週末にイタリア中銀総裁が経済成長見通しの下振れリスクについて言及したことや、ユーロ圏12月PPIが予想を下回ったことに加え、米金利の上昇を受けて、海外市場のユーロドルは1.1438まで下落し、1.1448レベルでオープン。NY朝方はドル買い優勢の展開に安値1.1425まで下落。その後発表された米経済指標が予想よりも弱い内容だったことから、1.1438まで上昇するが、プレグジットを巡る不透明感や、イタリアの財政状況悪化の懸念がくすぶる中、反落。新規の取引材料が欠ける中、NY午後は1.1430付近で小動きとなり、結局1.1436レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・田家